

# 報 告

(2011. 3. 22)

東日本大震災以後、1週間が経ちました。

学校では本部の指導の元3月16日から登校日とし、年度末事業を実施しています。この間、アボジ会、オモニ会、教務委員会が共同で討論し、実行した事業、今後の方向についてお知らせします。

(尚、PDF形式で添付する際、ハングルに対応しない場合があるため日本語での掲載となります事をご了承ください。)

- 1) 3月16日午後、設計士と検査員による、状況検査を実施しました。  
(設計図を参考に1Fから屋上まで検査)

(検査担当所見)

- 今回の地震による校舎の新しい亀裂や亀裂の広がり、倒壊などはなし
- 旧幼稚園講堂も同様である。
- A棟(初級部)、B棟(中級部)の連結部分は改築当時の物である。
- B棟の柱や作りがしっかりとしている。
- 改築方法が現在では許可が下りない作りになっている。

(外部の物を内部に組み込む構造)

- 但し、前回の耐震検査結果に基づく対策を早急に立てるべきである。

\*震災以前とほぼ同様の状態であると見なす。

- 2) 中級部学生、教職員用ヘルメット購入(アボジ会) 100個

- 3) 一部の父母による討論会がありました。(アボジ会)  
(3・16 26名参加)

- 4) 卒業式、卒園式は以後の各家庭の予定、新学年度準備と関連して、予定通り行うが、謝恩会は内容上、自粛し進行する事にしました。  
(中級部では削減費用の一部を支援金として送る事にしました。)

- 5) 時間差はありますが基本的に9時30分頃には登校しています。  
また、運動場での遊びは控えるように指導しました。(～3・18)  
計画停電に伴う、交通麻痺を想定し、集団下校を実施)

(登校生数) 幼初中 320名中

16(水):274名 17(木):276名 18(金):282名

- 6) 欠席者理由(3・18現在)

- ①交通麻痺: 3名(1%)
- ②不安: 9名(3%)
- ③避難: 22名(7%) \*海外、他地方
- ④他: 4名(1%)

- 7) 4月以降、災害時、防犯学習を実施します。

- 8) お願い

- ①学生たちの不安を解消(通学路、余震、放射能、学校に行けない等)
- ②学校—支部—父母の協力体制が必要です。
- ③学生、教員たちにとって、大事なしめくくりの学年度末です。
- ④冷静な判断、情報への過敏な反応、父母同士の未確認情報の流出
- ⑤Gメールへの参加(アクセス) [admin@tokyo-1ch1.ed.jp](mailto:admin@tokyo-1ch1.ed.jp)
- ⑥学校ホームページの活用(検索): 東京朝鮮第一幼初中級学校)

\*学校通知等を学生が父母に出さない事もあるようです。

(参考)

3月2日に東京第一耐震強度問題対策委員会がすでに発足しています

学父母の皆さまのご理解とご協力をお願いします。